

# 平成30年度コール・リコール実施経過報告より

## ◆ 工夫した点

- 受診の者とした受診勧奨による申込者数増加を見越して、検診日を増やすなど、検診の機会を増やした
- 土曜日の実施等、検診を受けやすくした
- 勧奨の時期と検診申込開始時期を合わせた
- 年間を通じて申込ができるようにした
- 継続受診を勧奨するために、検診会場で毎年受診可能であることを検診会場で掲示した県・保健所からの支援もあり、初めて見る住民にわかりやすい資材を作成できた
- できるだけ文字数を減らして、わかりやすい紙面づくりに努めた
- 開封の手間を省くため、圧着はがきを利用した
- 「過去に受診歴のある人は受診行動を起こしやすい」という研究結果により、資材を使用する対象とした
- 「受診歴を遡りすぎても受診につながりにくい」ことも考慮し直近3年間未受診の者とした

## ◆ よかった点

### <コール>

- コール実施後、受診券発行の申込が明らかに増加した
- 勧奨資材を利用することで、資材作成のための作業量が減った
- コール実施した検診の申込と同時に、他のがん検診の申込もあり、他のがん検診への波及効果もあった
- 初めてがん検診を受ける方が増加した
- 40歳になり、がん検診の対象になるということを知ってもらえる機会となった
- がん検診を知ってもらえる機会となった

### <リコール>

- リコール実施後、再び受診者数の増加がみられた
- リコール以降、受診者のうち初心者の割合が増加し、受診率向上に大きくつながった
- リコールの効果で、過去3年間受診していなかった人の受診が増加した

## ◆ 気づいた点・反省点

- 年間全体で比較すると受診者数に大きな変化はなかったが、リコール後の受診行動に明確な差が見られた
- 資材をリーフレットから圧着はがきに変更したが、受診者の増加につながらなかった
- 住民に慣れが生じないように、資材の種類等変化をつけて通知する必要がある
- 資材をカラフルにしすぎると、見づらくなる可能性もあるので、注意が必要。わかりやすい資材が大切であるので工夫していきたい
- 受診勧奨後、定員を超える申込みがあり、受診できなかった方がいた 検診の枠を多めに用意しておくことが必要
- リコールの効果は3か月程度だと感じているので、検診日の設定とリコール発送時期をよく考える必要がある
- 継続受診を促す資材が必要と感じている